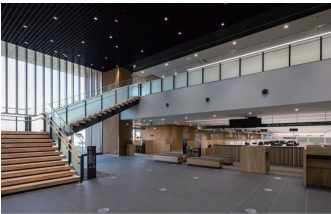


大垣市庁舎



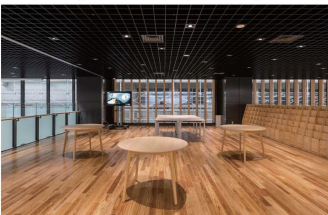
外観

新庁舎のすぐ横を流れる水門川と丸の内公園を一体的に整備し、魅力的な都市空間を新たに創出。大垣駅より徒歩13分。1-2Fの低層階は、床面積を広く確保して、利用者の多い窓口部門などを集約している。



内観

「清流の国ぎふ森林・環境税」を活用し、木材利用の推進と環境保全を推進。県産材を用いた内装やカウンター、椅子などを導入し、窓口や待合スペースなどに配置。温かい雰囲気演出している。



庁舎内誘導ロボット

市民サービスを一層向上させるため、案内や誘導サービスを行うロボットを導入。そのほか、大型のデジタルサイネージやパスロケーション情報の提供、AI(人工知能)の活用など最先端技術が駆使されている。



1F南トイレ前通路

車いす使用者や杖を使用される方に配慮し、段差の少ない誘導ブロックを設置。突き当りの大きなガラスにより、明るさのある通路となっている。



洗面コーナー

自己発電タイプの水栓や、意匠性の高いハーフベッセルの洗面器を選定。手洗い後の床への水垂れを抑えるため、洗面器の間にクリーンドライ(ハンドドライヤー)を設置している。



小便器コーナー

小便器は、停電時にも使用可能な自己発電式を採用。ユニバーサルデザイン配慮として、1ヶ所に小便器用手すりを取り付けている。



トイレブース

デザイン性と節水性に優れたウォシュレット一体形便器ネオレストDHを採用。男女とも各1ヶ所には、乳幼児連れに配慮してベビーチェアを配置している。



多目的トイレ①

各階に多目的トイレを設置。ベビーチェアなどが設置されたコンパクト多機能トイレパック(乳幼児連れ対応セット)を採用。さらに、1、2、8Fには大型ベッドも設置されており、だれもが利用できるトイレとしている。



多目的トイレ②

フロアや設置場所に応じて多目的トイレの機能を分散。3、5Fの多目的トイレには、乳幼児連れに配慮してベビーベッドを設置している。



キッズスペース・授乳室

1Fには、キッズスペースを設置し、隣接して授乳室が設けられ、出入口扉はお子様が誤って開けることのないよう、鍵の位置を高く設置している。

水まわりの特長

建物の特徴

大垣市の旧庁舎は、建設から50年以上が経過し、老朽化に加え耐震強度が不足していたため、隣接した場所に新庁舎を建設。すぐ横を流れる水門川と丸の内公園を一体的に整備する事で、魅力的な都市空間を新たに創出。新庁舎は「①だれもが利用しやすい環境にも優しい庁舎②防災拠点となる安全・安心な庁舎③多機能で経済的な庁舎④みんなの交流の場となるシンボリックな庁舎」という4つのコンセプトをもとに建設。高度な免震構造とともに空調システムに豊富な地下水を利用した「水都」ならではの庁舎では、ロボット・AIなどの情報通信技術(ICT)を活用。『災害』に強い、『最新』の電子市役所としている。

水まわりの特長

市民が集う交流の場としての庁舎にふさわしいトイレを整備。多目的トイレは、車いす使用者や乳幼児連れ、オストメイトなど、さまざまな方に配慮。フロアにより機能分散をさせており、だれもが使用しやすいトイレとなっている。また、小便器や水栓は、停電時でも使用可能な自己発電式を採用している。1Fに設置されたキッズスペースには、隣接して授乳室を設置。各個室で施錠ができるようにするなど、安全面にも細やかな配慮がなされている。

建築概要

名称	大垣市庁舎
所在地	岐阜県大垣市丸の内2-29
施主	大垣市
設計	山下・車戸設計共同企業体
施工	建築 岐建・TSUCHIYA特定建設工事共同企業体
	電気 ホクエー・小野電特定建設工事共同企業体
	衛生 林・加納特定建設工事共同企業体
	空調 三建・松井特定建設工事共同企業体
竣工年月	2019年11月
敷地面積	1,1489.71㎡
建築面積	3,676.67 ㎡
延床面積	20,806.19 ㎡
構造・階数	鉄骨造・地上8階、塔屋1階

おもなTOTO使用機器

ウォシュレット一体形便器	ネオレストDH:CES9575R
自動洗浄小便器	UFS900WR／小便器用手すり:T112CU22
洗面器	LS717CM／自動水栓:TEXN10A
手すり	T112CP5S／クリーンドライ(ハンドドライヤー):TYC420W
コンパクト多機能トイレパック	UADBY系
ウォシュレット	アプリコットP(温風乾燥付きエコリモコン):TCF5840AUPR
ベビーチェア	YKA15R